

正しく動き、美しくつながり、強く創り出す「未来を生き抜く力」を育成する学校



「たい」のあられる時津小



↑こちらからも↑

令和5年6月8日(木) 発行人：校長 森内 秀学

暮らしの数字 勉強の数字

「勉強したことが暮らしの中で役に立つかどうか」というのは、「勉強したい」という意欲に直結する、重要な問題です。でも、役に立てるつもりで勉強したのに、役に立てられないと、子どもは戸惑い、原因を探ろうと躍起になります。



例えば、先日4年生の授業で取り組んでいた「 $75 \div 3$ 」の問題。子どもは、筆算なら答えは出せますが、店先で計算機がなく、紙も鉛筆もないときどうするか…。そんな場面を想定し、この日のテーマは「 $75 \div 3$ を暗算で計算する方法を考える」というものでした。

勉強を生かし、数字の計算で「25」という答えは簡単に出した子どもたち。でも「暮らし」の場面をイメージし、10円玉7枚と5円玉1枚に見立てたカードで考えようとすると、途端にできなくなりました。20円ずつ3つに分けた後の15円を、どうすれば3つに分けられるのか分からないのです。「ごさん15でしょ」「両替すれば？」と思うかもしれませんが、でも、2つのコインを3つに分けることに混乱している子どもの頭には、もう15という数字はありません。あるのは、コインという現実です。

勉強の中の数字は、暮らしの中の数字とは、簡単には結び付きません。「あっそうか！」となるためには、「勉強」と「暮らし」の間に立ちはだかる壁を、繰り返し乗り越える必要があります。電子マネーも便利ですが、ぜひ、家庭でも意図的なかかわりをお願いします。

ただ、気づかないからといって、すぐに教えたり、笑ったりするのは、ご法度ですよ。



パソコンカメラマン登場

膝を落とし、四角い箱を向けている先には鍵盤ハーモニカを弾く友達…。不思議な姿ですが、実はこれ、一人に1台配付されているカメラ付きパソコンで、演奏の指使いや音色を録画している様子です。録画を見れば、自分の演奏を振り返ることもできます。時代が進むのは早いですね。

心づかいがあちこちに~アジサイ満開~

梅雨にぴったりの花と言えば、アジサイ。そのアジサイが、運動会が終わった頃から、校内のあちこちに、切り花として飾られています。このような配慮は、主に用務員に加藤さんやスクールサポートスタッフのみなさんがしてくださっています。これがあるだけで、ホッとしますね。

